



PTA会報

蒼天の翼

第32号

PTA 調査広報委員会

2012. 12. 13

題字 2年普通科 千葉明美



初秋の山形天童を訪ねる旅



希望の春に向けて

PTA会長 千葉 弘之

初雪も無い、肌寒い季節になってきました。会員の皆様には益々、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、我が校の校歌は「理想の翼」と言い、「遠き歴史を受け継ぎ、山仰台に学ぶ日々、希望を胸に語りつつ、未来に続く歩みあり」とは一番の歌詞です。生徒の皆さんは日常的に接するこの校歌は保護者にとっては接する機会が少ないものです。そのような中、千仰祭では生徒たちの日頃の活躍の様子を展示や、ステージ発表などで見ることができました。また、PTAの活動では母親委員会による手作りの菓子などはじめ、ご協力いただきました皆さんに心より感謝申し上げます。

研修委員会の皆さんが準備してくれました今年度のPTA研修旅行では、多くの方に参加いただきました。他校の様子を伺うと参加者が少なく困っているという話を聞きます。本校の山形方面へ向かう大型バスは概ねフル乗車となり、一学年の保護者から三学年まで、各地区からも参加をいただき、研修と懇親が深められたのではないかと感じております。

被災地への支援について、本校PTAは、特に近隣で被災の大きかった高田高校に対して支援をしております。津波で三階まで浸水した同校は、新しい校舎が高台に建設されることになりました。継続した支援を考えていますが、現地のニーズは次々と変化していますので連絡を取りながら対応してまいります。

各種行事が一段落した我が校は、特に三学年の生徒を持つご家庭では進路について決定された方、これからの方とお忙しい時期であると思います。どうぞ、体調を整えながら校歌のとおり「理想の翼」を持ち、希望の春を迎えて欲しいと思います。